SiNAPIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No. 66 2021. 11

“すべてのいのちを守ろう”

— 誰も置き去りにしない世界に向けて　No one will be left behind —

2021年正義と平和大阪大会テーマ

カトリック大阪大司教区　社会活動センター　シナピス

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

TEL　06-6942-1784　FAX　06-6920-2203　E-mail　sinapis@osaka.catholic.jp

巻頭言

「いのちへのまなざし」

広報担当　上田 憲

1945 年 8 月 6 日。皆さんもよく知っている、世界にとって忘れられない日。教皇ヨハネ・パウロ 2 世や現教皇フランシスコもかの地を訪れた。私たちの平和への意識、いのちについて考えさせる場である。しかし、私にとって衝撃的なことがあった。2016 年 8 月 6 日の出来事。それは、まだ神学生の時に広島の平和巡礼に参加したことである。この日が来るまで、私の中の 8 月 6 日の広島はテレビの中の平和式典がすべてであり、ミサに参加した方の言葉がすべてであった。たった 1 日でもこの日は、町は鎮魂の空気を帯び、多くの人が平和への気持ちを新たにし、戦争の悲惨さを憎み、すべての犠牲者を悼む想いで溢れていると、勝手に思っていた。

しかし、私が訪れてみた光景は、先の言葉とは程遠い世界であった。平和式典の最中にもかかわらず、大声で政権を批判する団体、平和行進を冷ややかに見つめる町の人々、ビルの中の片隅に追いやられ忘れ去られた慰霊碑など、私の中でまったく整理がつかない現実がそこにあった。すべては見つめることから始まった。平和を願う気持ちや命を慈しむ行為はすべてにおいて恒久的な願いである。悲しいかな、にもかかわらず、私たちはいつの間にか「知ったかぶりの正義」の世界に閉じこもり、現実から目をそむけ、目の前の命に対して、慈しみの眼差しをもって見つめることをいつしか忘れてしまっている。

詩編 85 には「慈しみとまことは出会い/正義と平和は口づけし/まことは地から萌えいで/正義は天から注がれる」とある。現実の世界に対する批判を語る身勝手な正義は争いを生むだけであり、現実を知って、回心し、慈しみのある行動失くしては真の正義と平和の訪れはあり得ないのである。「全てのいのちを守る」とは、まさにこの目の前にある存在や出来事に対する愛おしさを失くしては、単なるスローガンで終わってしまう。「全てのいのちを守る」とは、神から与えられた命によって生かされていることを知り、他者の声に耳を傾け、自分の想いを分かち合い、過ちを互いに赦すことでお互いに生かすものとされることによって実現していくのである。

今回の「正義と平和全国大会」の分科会には多くの話がある。それらの話は決して「押しつけの正義」ではなく、現実を伝え、私たちがどのように行動するかを考えさせ、一人一人の歩みを前に向けさせるものとなりますように。すべての出来事に慈しみのまなざしをもって歩むきっかけとなることを心から願っている。

今月のページ

■ ニュースレター 目次 ■

1　巻頭言
2　シナピスの風
3　子どもたちに伝えたい平和
4　時報 11 月号
7　障がい者委員会より
9　助けてください
13　教えてください～！！第十九弾！
15　掲示板
　　あとがき

■ チラシ・ご案内 ■

- シナピスの風
- 11 月の祈り
- 忘れないあきらめないカレンダー
- 正義と平和大阪大会　特別プログラム案内
- 憲法講演会
- 今年も南京証言集会です。
- クリスマスカタログ第２弾
- 映画の紹介
-

カトリック大阪大司教区　社会活動センター
シナピス
Social Action Center of Catholic Archdiocese of Osaka

カトリック正義と平和協議会全国集会 大阪大会 2021.11.22~23
“すべてのいのちを守ろう”
～誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind～

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って
平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

シナピスの風

＊行事はコロナ感染症の影響で延期または中止になることがあります。
ご参加の際は連絡先にお問い合わせください。

第 143 号　2021 年 11 月 4 日発行

11 月の祈り

人類の父である主よ、
あなたはお造りになったすべての人に、
分け隔てなく尊厳をお与えになりました。
わたしたちの心に、
兄弟姉妹への愛を目覚めさせてください。
再会、対話、正義、平和の夢を、
呼び覚ましてください。
飢えも貧困もなく、暴力も戦争もない、
より健全な社会と、
より尊厳ある世界を築くために、
わたしたちを奮い立たせてください。
主キリストによって　アーメン。

（教皇フランシスコ、「兄弟の皆さん」287 より）

シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターとともにお送りしております。教会で、ご家庭で、日々のお祈りにお使いください。
シナピスのホームページからも、ダウンロードしていただけます。

カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク 第 7 回勉強会
『性教育 どこまで教えるの～パート 3～』
教育現場からのメッセージ

日時:11 月 27 日(土) 12:30～15:30
導入　：井上 洋士さん(HIV/AIDS デスク委員)
講師　：平良 愛香さん(HIV/AIDS デスク委員、日本基督教団牧師)
定員　：先着 50 名
参加方法：オンライン(Zoom)　参加費：無 料

＊参加ご希望の方は 11 月 8 日(月)までにメールかファクスで、ご連絡ください。
後日、開催に関するご案内をお送りいたします。

主催･問合わせ･申込み
:カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク
☎ 03-5632-4414 ／ FAX 03-5632-7920
✉ hivaids@cbcj.catholic.jp

正義と平和協議会全国集会　大阪大会

いよいよ今月です！

申込み期限延長

オンライン開催！

参加申し込み
11 月 10 日(水)まで
受付中！

◆大会参加申込み受付中！！
まだまだ間に合います。
大阪教区ならではの「連携･つながり」を生かし、声をかけあってお申し込みください。

特別プログラム<2 日目のみ>
▸中高生対象:「Youth Forum」
▸外国にルーツを持つ人とともに
「みんな地球人」

詳しくはパンフレットをご覧いただくか、
JP 大阪大会事務局のホームページから
検索ください。
►►► http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html

パンフレットはシナピスにあります。
こちらからもご覧いただけます ▸▸

緊急！アフガニスタンの人々のいのちを助けて！

日本政府にアフガニスタンの市民を難民として受け入れ、また日本在住の在留資格のないアフガニスタン出身者を本国に帰さないようハガキ、FAX で訴え、そして、ともに祈ってください。

祈りの集い開催　日程：毎月第 2 木曜日　時間：午後 8 時半～(30 分)
次回：11 月 11 日(木)
開催方法：Zoom（100 名まで参加可能です）
下記 URL、ID＆パスコード、QR コードからご参加ください。►►►
URL：https://us06web.zoom.us/j/2204153804?pwd=WXVtZ29KQlZ3MllxWXhub2NJYjJyZz09
ミーティング ID：220 415 3804　　パスコード: 562810

ハガキ、FAX 用紙はシナピスにあります。
9 月号シナピスニュース同封の FAX 用紙記載の法務省の FAX 番号に間違いがありました。
お詫びし訂正いたします。訂正（誤）03-5592-7393 →（正）03-3592-7393

食糧支援のお願い
コロナ禍で解雇された技能実習生、帰国できずに困っている留学生や短期滞在者が増えています。日持ちのする食品、ハラル食品などのご支援をお願いします。

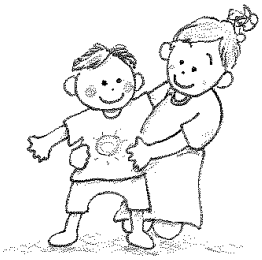
シナピスホームページリニューアル！！
お待たせしました。シナピス HP がリニューアルしました。
https://sinapis.osaka.catholic.jp

継続中！
混乱が続くミャンマーの人々のいのちを守る働きかけもしています。
ハガキが必要な方はシナピスまで。

カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス
Tel 06-6942-1784　Fax 06-6920-2203
URL: https://sinapis.osaka.catholic.jp/

「点訳版」「音訳」
ご希望の方はシナピスまで
お申込み下さい。

子どもたちに伝えたい平和



おおたまさる（和歌山・福音の小さい兄弟会）

今は、国会議員の選挙で、１０月３１日の投票日に向かって、選挙戦の真っ盛りです。僕の住んでいる和歌山県で、応援している候補者がいますが、彼は「政府や与党のうそ、ごまかし、隠蔽＝かくしだて、を見逃さないで、政治を正しくしよう」と頑張っています。政治は大人の世界のことなので、子どもの感じる正義感で判断できないという人もいますが、それは間違っていると思います。子どもの時に、僕は不思議な体験をしました。僕が隣の家に遊びに行くのに、ぐるっと回っていくのが面倒なので、隣の家との間の垣根をくぐってしまうのですが、その時は垣根の木の枝を折ってしまったのです。隣の桜井さんのおばさんが見とがめて、ちょうどそこに居た母に「まさるちゃんは、枝を折ったよ」と文句を言いました。ぼくは、「しまった」と思っていたので、母に怒られると覚悟したのですが、母は意外な事に「うちの子は、そんなことはしません」ととなりのよっちゃんが枝を折ったと言わんばかりの反論です。叱られなくて、ほっとしたのは確かですが、「母は間違っている」と思ったのでした。

大人の世界では、身内をかばうという事が起こりますが、子どもの感覚・正義感では、それは間違っています。木の枝が折れたという事実に対し、母はとっさに自分の身内を守ったのですが、結果的には、隣のよっちゃんが濡れ衣を着ることになります。下手をすれば、桜井さんと母との喧嘩になり、近所付き合いにひびが入ってしまいます。子どもの正義感は大事です。僕が叱られる方が、正義と平和は保たれるのです。

僕の応援している候補者は「政府や与党のうそ、ごまかし、隠蔽＝かくしだて、を見逃さないで、政治を正しくしよう」と頑張っていますが、その裏には「赤木ファイル」という「嘘つきに抗議して自死を選んだ赤木さん」の残したファイル＝書類の問題があります。政治家がこの問題を正義に基づいて解決しないと日本に平和は来ません。一人の財務省職員が命を懸けて抗議したのです。僕の場合は、「お母さん、違うよ。よっちゃんではなく、僕がやったんだよ。桜井のおばさん、ごめんなさい」といえばよかったのですが、母の剣幕におされて、黙ってしまったのでした。その方が、母に打たれるという処罰無しで済ませられたからです。

時報 11 月号より

イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分ち合うことのできる、
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

正義と平和大阪大会

開催迫る！

申し込み　まだ、間に合います！

11 月 10 日(水)まで

いよいよ今月、22 日、23 日に開催いたします。
申込み受付を再延長いたしました。ご参加お待ちしています。

閉会・派遣ミサ

＜YouTube 配信＞

23 日（祝・火）14:00

主司式：前田万葉大司教
司　式：酒井俊弘補佐司教
　　勝谷太治司教（札幌教区、
日本カトリック正義と平和協議会会長）

＜YouTube チャンネル＞
▶▶▶https://youtu.be/jrNw40dljMk

特別プログラム「みんな地球人」スペシャルゲストをお招きして、身近にある「違い」について考えます。
教会学校で、家族で、青年たち、海外にルーツのある人たち、みんないっしょに、誘い合わせて是非ご参加下さい。

みことばの分かち合いを開催中＜Zoom＞

◆ 大会実行委員会主催 ◆

聖書を読み、自由な分かち合いを通して祈ります。

＜テーマと聖書箇所＞

▸11/16(火) 19:30～20:30

「互いに愛し合いなさい。」(ヨハネ 15:9-17)

＊各自聖書をご用意ください。

ファシリテーターは松浦謙神父が担当します。

URL:
https://us06web.zoom.us/j/89675666818?pwd=dWFoa0pUMTUyL0IxUTNsZTVDazBNUT09

ミーティング ID: 896 7566 6818
パスコード: 891753

◆ 大会運営のための協力金のお願い

全国規模の大会のため、経費がかかります。

ご協力をお願いいたします。

一口1,000円

＜郵便振替＞

加入者名：カトリック大阪大司教区

祈り、
つながり、
歩む私たち

正義と平和全国集会大阪大会実行委員会主催

報告

「すべてのいのちを守る月間」に寄せて

コロナ禍で集うことが難しいなか、正義と平和全国集会大阪大会実行委員会主催、シナピスの協力でオンライン「みことばと祈りの集い」を 4 回開催しました。この集いでは、祈りが必要な方へ届ける以外にも、「誰も置き去りにしない」ことを念頭に、教会へ来られない方とつながり、霊的な時間をもつ助けになるため、公開ミサが無く教会に興味があるけれど行くチャンスが無い方へのきっかけづくりのため、そして、今後の祈りの集いの参考にするためなど、さまざまな目的で行われました。4 回合わせ国内外から延べ 260 人くらいの参加者と共に祈りをささげることができました。

第 1 回目は松浦 謙神父の司式で「アフガニスタンの人びとのいのちが守られ平和が来るように」をテーマに、アフガニスタンの歴史をふり返りながら祈りをささげました。この日は偶然にもアフガニスタン問題が始まるきっかけとなった「9.11 ニューヨーク同時多発テロ」と同じ 9 月 11 日でした。

第 2 回目は「共に暮らす家である地球を大切にできるように」をテーマに、松永 敦神父から環境問題は社会問題であり、人間一人ひとりの問題につながるもの、声なきものの叫びに耳を傾けて行くことが出来るようになろうとのメッセージをいただき、心を合わせて黙想しました。オンラインではありますが第 2 回目はアナログにこだわり、オルガンやギターの生演奏に合わせて聖歌を歌い、黙想中は画面を通してイコンを掲げ、自然でありのままを映し出すことにこだわりました。主催者の心配に反して、参加者の方からは技術を駆使した集いよりアットホームで良かったと好評でした。

第 3 回目、第 4 回目は参加型の集いを試みました。前奏、後奏、聖歌、楽器演奏を様々な形で参加者の方に奉仕していただきました。これまでにない一体感を感じ、より一つになって参加者全員で祈りをささげることが出来た集いになりました。第 3 回目は「新型コロナ感染症の終息を願って」をテーマにデンニ・ワユディ神父から家族の死、昨今の教会の問題などについてのメッセージをいただきました。

最終回では酒井俊弘補佐司教から「誰も置き去りにしない世界をめざして」をテーマに、「難民のため、〇〇人のため、ではなく、各人の名前をきちんと認識して一人ひとりのために祈ることが出来ているか」とのメッセージをいただきました。この言葉は深く参加者の心に刺さったことと思います。さまざまな工夫を凝らして開催した集いでしたが、本当に大切な事は各自が心から相手を思う「祈り」であるということに気づかされました。

祈り、
つながり、
歩む私たち

社会活動センター　シナピス主催

実施中

アフガニスタンのために祈ろう

アフガニスタンの反政府勢力タリバンが 8 月 15 日首都カブールを制圧した直後から、シナピスには毎日のようにアフガニスタン人から電話が入っています。

日本国内からは「祖国の家族を救出して欲しい」、アフガニスタン現地からは「私たちを助けてください」と悲痛な叫びが続いています。私たちはアフガニスタン難民救出のため、在日本アフガニスタン人難民保護のため、あらゆる可能性を探りながら救出・保護活動を続けています。

みなさん、アフガニスタンの人びとが希望を失わないように、アフガニスタンに平和が来るように、そして支援の輪が我々の愛の力で膨れ上がるように、一緒に祈りを届けませんか。

日程：毎月第 2 木曜日　　時間：午後 8 時半～（30 分）
開催方法：Zoom（100 名まで参加可能です）
下記 URL、ID＆パスコード、QR コードからご参加ください。　▶▶▶
URL：https://us06web.zoom.us/j/2204153804?pwd=WXVtZ29KQlZ3MlIxWXhub2NJYjJyZz09
ミーティング ID：220 415 3804　　パスコード: 562810

少しでも多くの方のご参加をお待ちしています。
途中参加、途中退出、5 分だけの参加も大歓迎です。
「すべてのいのちを守るため」宗教を超えた祈りができる集いを考えています。
どうぞ、信徒でない方も、難民移住者に興味がある方も、集いにご参加ください。皆さんの祈り、関心を必要としています。

主催：カトリック大阪大司教区社会活動センター・シナピス
連絡先：TEL06-6942-1784・FAX06-6920-2203
メールアドレス：sinapis@osaka.catholic.jp
ホームページ：https:// sinapis.osaka.catholic.jp/
▶▶▶

障がい者委員会より

「病者・障がい者とともに歩むミサ」

9 月 23 日（木曜日、祝日）14 時、前田大司教主式により、玉造カテドラル大聖堂で行われました。平年のミサ参加者は 300 人から 600 人ですが、昨年同様ミサは非公開で YouTube 配信し、視聴者はライブ配信時約 70 人、三日後には約 700 人でした。

説教では「世界病者の日」の教皇メッセージや東京パラリンピックに触れ、「すべての命を守る月間」と、大阪教区で新設された基金への呼びかけもされました。また共同司式には、退院して間もない酒井補佐司教も加わってくださいました。神と人、人と人の見えない絆を感じさせられるミサでした。

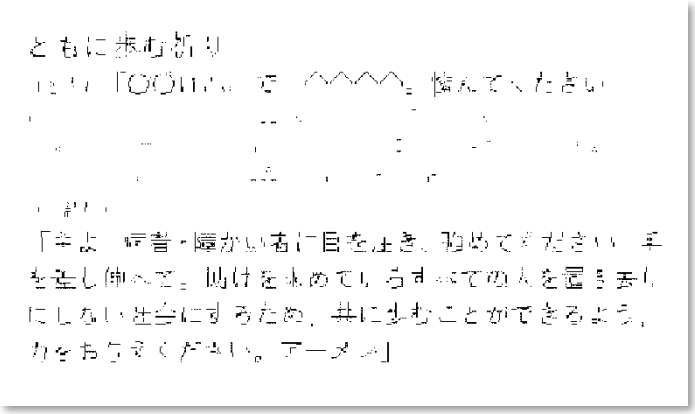
コロナ禍の「おかげ」で、会えない人同士の IT 機器を介したコミュニケーションは驚くほど浸透した一方、その道具・手段を持つ人と、持たない人の間の情報格差は広がり、「便利」に慣れた人の意識外に置かれる人の孤立は深くなることを忘れてはなりません。

配信を視聴する人もしない人も、各自の場から祈りを共有できるようにと「ともに歩む祈り」のカードを小教区に送付するなど、特に見えない繋がりや情報保障に配慮しました。

ミサの開始前には「ともに歩む祈り」を唱えましたので、その内容をご紹介します。
皆さま、今後も、ともに心合わせてお祈りください。

表

「ともに歩む祈り」カード



裏

※この祈り原文は、闘病生活の中で作成してくださった A さんは、このミサに与る前に帰天されました。祈りはこの世の生死を越えた絆のうちにあります。

共 同 祈 願

〇病者の立場から

主よ、切なるお願いです。身体的な事情で思うような行動が出来ない人に、目を留めてください。主が支えてくださっていることに気づくことができますように。私たちが互に支え合うことができるように力づけてください。私たちひとりひとりの方法で実践できますように。

〇視覚障がいの立場から

新型コロナウィルス感染症の影響で失業した人、所得が減少した人の為に、また後遺症に苦悩している人の為に祈ります。心の平穏を取り戻し、以前の生活に戻れますように。希望を持って歩んで行けますようお導き下さい。

〇肢体障がいの立場から
神よ、私たちに、お恵みを与えてください。私たちは、みんな欠点だらけの存在です。ても、そんな私たちだから、とくに障がいを持った者たちを、気にかけてください。

〇ろうの立場から
コロナ禍のために、病気の人たちや亡くなった人たち体が弱くなった人たちに、神様、こころの命の恵みを豊かにお与えください。障がい者のためにも変わることができるように祈ります。

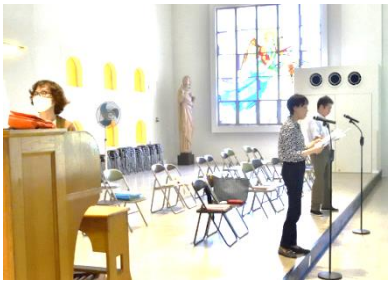
〇吃音者の立場から
どもるからと、自身を否定することやめます。どもるからと、人としての責務を怠たることをやめます。どもるからと、自分の可能性を閉ざすことをやめます。神様、私たちに勇気と力をお与えください。

〇知的障がい者グループから
コロナ禍の中で知的ハンディをもっている人たちもまた、厳しい生活上の困難や様々な固有の問題を背負わされています。そのような課題のひとつひとつを私たちがともに克服していくことができますように。また長引くこの状況下、共に集うこともできない困難の中で、私たちがひとつの共同体であることを忘れることなく歩むことができますように。

〇カトリックスカウトから
私たちカトリックスカウトは、この８月に淡路島に全国の仲間が集う、カトリックスカウトキャンポリー開催予定でしたが、昨年来の新型コロナウィルスの影響で、中止になりました。 美しい海、海を渡る風、波の音、夜の海と星、友との語らいはできませんでしたが、神様は見えないものを見る目、想像する力を与えてくださいます。来年こそは、障がい者の皆さん、病気の方々、高齢者の皆さんとともに大阪カテドラルに集ってミサができますように

〇依存症の立場から
私たちは薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症者で、回復の道を歩く困難のために、自分自身に正直に生きること、依存するものを手放すことができません。憐んでください

〇コロナ後の世界のために
共同生活の中にいながらも孤立し、不安を抱え、息を潜めて生きている人たち、孤独に耐えている人たち、会いたい人に会えないでいる人たち、大切な人を失ってしまった人たちがいます。今、コロナ禍の中で気がついたことがあります。こんな時だからこそ、みんなで心を合わせて祈りたいと願います。イエス・キリストは、貧しい人、虐げられた人をいつも大切にしてくださいました。私たちもコロナ収束後は、元の世界に戻るのではなく、依存症の人たち、虐待を受けている子どもたち、大人たち、病に苦しんでいる人たち、性差別を受けている人たち、LGBTQ+の人たちなど、誰ひとり排除せず、まったく新しい共同体へ向かえますように。



助けてください　～ジュンさんものがたり～

9 月 13 日、シナピスセンター長の元へ「友達が死にそう。助けて欲しい」とフィリピン人女性から 1 本の電話が入りました。ここから私たちとジュンさんとの出会いが始まりました。

◇ジュンさんの窮状◇

翌日、シナピスの職員が本人に事情を聴いたところ、ジュンさんは 30 年間非正規滞在で無保険状態、17 年間寄り添って暮らした人は、去年 1 月にコロナに感染し体調不良のまま車を運転して事故死し、ジュンさんは行き場がなくなり友人宅を転々としていたことが分かりました。数ヶ月前から体調を悪くし、布施駅付近でへたり込んでいたところ、ネパール人が気の毒がって家の一室を提供してくれたとのことでした。

「フィリピン帰りたい。でも一日に何回も倒れる。しんどい。お尻から血が出る。」

私たちは、病院で診てもらってから入管に出頭する計画を立て、9 月 17 日には無料低額診療事業を行う病院を見つけましたが、彼女の病状を知った病院側にコロナ感染疑いを指摘され保健所に相談するよう助言を受けました。ところでよくよく居候先のネパール人に事情を聴いたところ、実はその家ではコロナ陽性者が 2 人もいて自宅療養中だったことが判明し、私たちは迷わずネパール人に 119 番通報するよう頼みました。

◇救急隊も警察もコロナ感染疑いの人を置き去りに◇

9 月 18 日、駆けつけた救急隊員はジュンさんがオーバーステイで無保険であると知ったとたん病院へ運ばず、警察へ通報して帰ってしまいました。やってきた警察はシナピスに「ジュンさんの身柄引き受けをするように」と言い、私たちが「コロナ感染疑いの症状があるのだから病院が先でしょう」と断ると、「保健所に相談したら“濃厚接触には当たらない”と言われた」などと答えました。「ではどうぞ逮捕してください」と言って電話を切りました。19 日夜、ネパール人から電話があり「ジュンさん、そのままおるよ。どうする？」と言われ、唖然としたスタッフが「警察は？」と聞くと「また来る」といって立ち去ったまま戻ってこないというのです。救急隊員、警察ともどもオーバーステイで無保険で体調の悪いジュンさんを置き去りにしたのでした。

◇病名宣告◇

ジュンさんの友人は「ジュンさんを助けて。死んじゃうよ」と再三シナピスに電話をよこします。私たちは「コロナ陰性と分かったら協力できるけれど、それができないなら入管に通報してもらう他ない」と答えました。

9 月 20 日、友人は自腹を切って PCR 検査を受けさせ、翌朝「陰性だったよ」とシナピスに報告したので、私たちは直ちにジュンさんを助けることにしました。友人は電車でジュンさんを連れてきましたが、ジュンさんは意識朦朧とし、へたり込み、スタッフが車椅子を出して診療所まで連れて行き、近くの診療所で診てもらいましたが、すぐさま総合病院へ搬送され、ジュンさんは輸血しつつ精密検査を受けました。

9 月 27 日、私たちはジュンさんが末期の直腸がんだと聞かされました。
翌 28 日、シナピスの職員が大阪入国管理局へ代理出頭し、「帰国を希望しているので速やかに送還して下さい」と頼みました。渋る入管に「善意の個人で援助できる状況にない。送還しないのなら在留資格を与えて下さい。そうすれば医療機関にかかれ行政で救済できます」とお願いしました。それでも渋い顔をする担当官に「では本人を入管へ連れて来て置き去りにしますので、後よろしく」と言うと、やっと入管は「明日 29 日、入院先へ出向く」と約束しました。ただ、残念なことに、約束の 29 日の朝、ジュンさんは退院させられてしまったのでした。私たちは診療所と話し合い、協力体制を作って面倒を見ることに決め、ジュンさんをシェルターに迎え入れました。

◇支援者・医療従事者・入管・領事館の協力◇

シナピスがジュンさんを預かったことを知った入管は、違反調査や強制送還の手続きを教区本部事務局の一室で行いました。ソファで毛布にくるまって横たわるジュンさんの体調を伺いながら入管職員は手続きを進めました。30 日、担当官がジュンさんに「私の調査はこれで終わりです。お元気で」と挨拶するとジュンさんはその調査官を手招きしました。調査官がジュンさんに招かれるまま、彼女のそばに跪くと、ジュンさんは弱弱しく腕を広げて調査官にハグし「ありがとね」と言いました。その担当官は、玄関先まで見送ったスタッフに「私たちも人間ですから、人に対して善いことをしたいのです」と呟いて去って行きました。

10 月 1 日、今度は強制送還の担当官が手続きに来ました。「入管の者です」と入管手帳を提示すると、ジュンさんは「見せて」と言い、担当官は開いた入管手帳を彼女に近づけました。ジュンさんは愛おしそうに手帳にはめ込まれた金色のバッジを静かに撫でました。担当官は「国費で帰国できるようにします」と告げました。ジュンさんは「Miracle!　God alive！」と叫びました。

その後、一刻も早い帰国手続きの為、入管、フィリピン領事館、医療従事者、私たち支援者が団結し日々奔走しました。特にジュンさんを土日返上で毎日往診、手当てに来てくださった医師・看護師の方々には感謝しかありません。ただ、ジュンさんの容体では航空会社が搭乗許可をなかなか出さず、ジリジリと時間が過ぎてゆくばかりでした。

10 月 5 日未明、激痛に耐えかねたジュンさんの絶叫の電話があり、スタッフは 119 番通報をし、すぐさまシェルターへ駆けつけ、病院で応急処置を受けました。病院から帰る間際に、ジュンさんは医師に聞きました。

「先生、私どれくらい生きられる？」

「…10 日、よくもって一ヶ月」

ジュンさんはシナピスのスタッフに「焼きそばUFO が好き。食べたい」と言いました。

入管は、飛行機に乗れる状態になるまで国費でジュンさんを治療する決定を下し、ジュンさんは国立病院へ救急搬送され、人工肛門をつける手術を受けました。ジュンさんはやっと直腸癌の治療を受けさせてもらえたのです。

◇祖国へ◇

10 月 13 日夜、入管・領事館・病院・支援者が一堂に会し、ジュンさんがフィリピンへの送還に耐えられるまで回復したことを確認し、入管は「15 日 15 時 25 分の便で帰国します」と告げました。会議の後、全員でジュンさんの病室を訪れると、ジュンさんは寝間着をめくって、「これ見て、私の腸。いつもうんこと一緒に生活するねん」とみんなに見せました。入管職員が「私の叔父と一緒です。でも叔父の時よりもずっと袋がよくなりましたね」というと、ジュンさんはその人が入管手帳を見せた担当官だったと気づき「ありがとね。大好き」と言いました。

10 月 15 日帰国の日、ジュンさんは私たちに「もう十分。最後の 1 か月私は幸せだった」と言い無事に送還されてゆきました。フィリピン領事館からも入管からもシナピスに送還完了の連絡が入り、互いに労をねぎらい感謝の言葉を交わしあいました。普段は何かと対立しがちな入国管理局ですが、今回は一人の人の命をみんなで協力し全力で救った清々しさがあり、ジュンさんのドラマが私たちに良い記憶として残りました。

そして、この原稿を書いている後ろでフィリピンに帰ったジュンさんからスタッフへ電話が。「もしもし～みんな～げんき～UFO 食べたいわ」と元気な声を聞かせてくれています。

国立病院へ搬送時、付き添った友人が医師に「祈りたい」と言いました。「え?!ここで？」と思いましたが、医師は「いいですよ、どうぞ」と応え、友人は処置室のベッドに横たわるジュンさんの体に手を置き祈り始めました。その光景が目に焼き付いています。

激しい痛みの中でもユーモアを忘れない、人を笑わせたり楽しませたり、フィリピン人のパワーに圧倒されました。入管の人がしわしわで小さくひからびて毛布にくるまるジュンさんを人として尊敬する姿勢で接したのはジュンさんのなせる業でした。

ジュンさんのために、皆でお祈りした時、"I am blessed！" と嬉しそうにジュンさんは言いました。
本当にそうだと思いました。

ジュンさんが初めてシナピスで夜を明かした朝、痛みと不安で眠れなかったジュンさんは「今すぐ命を終わらせてほしい」と泣きじゃくりました。でも日を追うごとに元気を取り戻し帰国出来ることが分かった時「神様は（自分を）見てたよ！」と私に話し空を仰ぎました。その時の輝いた顔が忘れられません。

ジュンさん、痛みがあるなか「歩かなければ」と一緒に手をつないで歩いたこと忘れません。
明るい声も忘れられないです。

ジュンさん
今頃お土産で持って帰った UFO みんなと食べているでしょうか。お世話をしている時は忙しく大変でしたが、声が聞こえなくなるととっても寂しいです。また会える日が来ることを祈っています

ケンタッキーやピザを白米と共に食べていたジュンさん。「おなか痛くなるよー」と言っても、食べたいと笑顔いっぱいに口に入れていました。周りにいた私達にも早く「食べて食べて」と気遣いも見せてくれました。
今頃、母国料理をたくさん食べているかな？　残りの人生は母国で美味しいもの食べて安心して暮らせますように。

助けてください　その後

アフガニスタンからの退避希望者のその後です

◇アリさん一家◇

幼い子どものパスポート取得が難しいため、アリさんは一大決心をし家族に先駆けて在イラン日本国大使館へ助けを求めに行く準備を始めました。シナピスでもアリさんがイランへ入国できるよう在アフガニスタンイラン大使館へ文章を準備中です。

◇ Ｙさん一家 ・ Ｇさん一家 ◇

この二組の家族はそれぞれ有効なアフガニスタンパスポートを所持していたので、Ｙさん一家はパキスタンへ Ｇさん一家はイランへ退避をすることが出来ました。シナピスは連日外務省へ電話をし、どうにかこの二家族に日本へ来るビサを発給してくれるように訴え続けています。退避した隣国にもタリバンが潜伏し退避者を探し出しては攻撃をしているとの事で一刻も早く助け出す必要があります。

祈りの集い

第1回シナピス主催アフガニスタンのための祈りの集いを 10 月 14 日(木)に行いました。
40 名以上の方が参加くださり、共に祈りを奉げることが出来ました。

今回はアフガニスタンの現状説明の後、実際に在日アフガニスタン人の叫びを紹介しました。
彼女は現在永住権を持ち日本で暮らしていますが 20 年にタリバンの恐怖を実際に体験した一人です。

『アフガニスタンは20年前に戻っている。タリバンはハザラ人を住んでいる土地から追い出し殺している。本当に助けてほしい。アフガニスタンからタリバンがいなくなってほしい、平和が戻ればみんな外国に行く必要もなく自分の国で暮らせる。』

と悲痛な叫びを届けてくれました。遠い国で起こっている出来事の様にとらえがちな我々に関心を持つきっかけを強烈に与えてくれるメッセージでした。この方のご家族もまたアフガニスタンで退避の方法を模索し続けています。

悲痛な叫びを聞き、集った皆で静かに暗闇に光るろうそくを見つめながら黙想し祈りを奉げました。ZOOM での集いですが、皆が心を静かに祈れる雰囲気を作り出す助けになるよう、実際に画面の前でろうそくに明かりを灯すところから映し出し皆が一体になれるよう工夫をしました。アフガニスタンへ祈りを届ける他にも、忙しく過ごしている我々に静かに祈る時間をこれからも作って行きたいと思っています。

次回の祈りのつどいは 11 月 11 日(木) 20 時半～
皆様のご参加を心よりお待ちしています

開催方法：Zoom（100 名まで参加可能です）

下記 URL、ID＆パスコード、QR コードからご参加ください。▶▶▶

URL：https://us06web.zoom.us/j/2204153804?pwd=WXVtZ29KQlZ3MlIxWXhub2NJYjJyZz09

ミーティング ID：220 415 3804　　パスコード: 562810

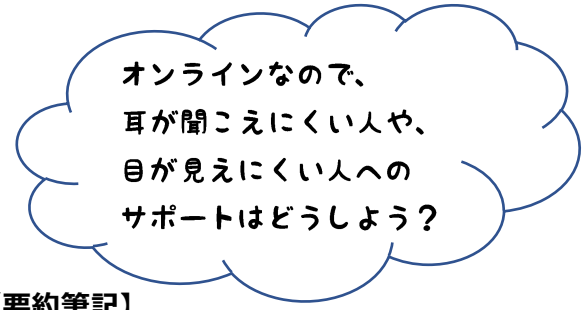
教えてください～！！第19弾！

「エコロジカルな回心」とは？

参加申し込み締め切りは 11 月 10 日(水)まで

正義と平和大阪大会いよいよです！

日本カトリック正義と平和全国集会大阪大会が、今月 22 日、23 日に開かれます。緊急事態宣言は解除されていますが、オンラインのみでの開催です。分科会に安心して参加いただけるよう、参加申し込み時にお手伝いが必要なことがないかお聞きしています。まだ間に合いますので、心配なことがある方はぜひご相談ください。



【点字】
画面上で共有する資料を読み上げたり、点字にしてお渡しすることができます。必要な方は分科会主催者に伝えますので、事務局までご連絡ください。

【要約筆記】
字幕のようなものを画面上に出し、今話していることを逐次お伝えします。現在のところ、分科会 1，8，10，11，12，17，30 で予定しています。

【手話】
今何が話されているかわかるように、画面越しに手話をしていただきます。現在のところ、分科会 17 で予定しています。

【拡大文字】
画面上で共有する資料を大きな文字で表示します。必要な方がおられたら事務局から主催者にお伝えします。

「誰も置き去りにしない」大会に向けてご一緒に

今回の大会はコロナ感染症拡大の影響で、オンラインのみの開催にせざるをえませんでした。参加を希望する方がみなパソコンやスマホを持ち、ネット環境が整い、機器の操作に慣れておられるとは限りません。私たち自身初心者に近く、ご期待に添えないことが多々あることを心苦しく思っています。でも、できる限りお手伝いしたいと考えています。わからないことがあったらぜひご連絡下さい。

＊パソコンやスマホ、ネット環境がない
→仲間 2、3 人で集まって参加する

＊Zoom 操作の仕方がわからない
→教区 HP 内「正義と平和大阪大会」にマニュアルがあります。
http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html

＊やってみたけれどうまくいかない、Zoom まで行きつかない　その他
→シナピス事務所に連絡
☎06-6942-1784

みなさんがご存じのことを教えてください

たとえばこんなこと

1. 環境のためにしていること、昔から言い伝えられている知恵

2. あなたにとって、「すべてのいのちを守る」とは？

☆お名前またはニックネーム ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☆連絡先（メールアドレスや電話番号など）

☆投稿方法　　FAX：06-6920-2203　／　メール：sinapis@osaka.catholic.jp

QR コード＊

＊QR コードの読み込みには、スマートフォンなどで QR コードリーダーをダウンロードすることが必要です。

みんなの　けいじばん

秋の深まりが感じられるようになってきました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。
ある小教区の方からお手紙をいただきましたので紹介いたします。

「YouTuber 前科三犯 893 番　懲役太郎と共に」
～本当の意味での更生～

グレイス

「前科三犯 893 番懲役太郎です」という名乗りで始まる YouTube チャンネルをご存知でしょうか？
登録者数 38.4 万人（10 月現在）を持つ、「懲役太郎チャンネル」の YouTube の配信者です。
その名の通り前科が三つあり、元反社会勢力に属していました。
刑期を終え反社会勢力から離れ 15 年以上経ち、キャラクターに扮した Vtuber として真面目に再起をはかっています。
現在、YouTube 配信者は小学生男子が将来なりたい職業ランキング 1 位というほど人気の職業です。

今年の復活徹夜祭の夜に、「会社を作ってもらえないか？」と電話がありました。
晴天の霹靂とはまさにこの事です、「なぜ？私が…どんな理由で会社を設立しなければならないの？」と当初は思いました。個人としての活動が難しいと聞き「私がやらなければ誰がするのだろう」と徐々に気持ちが変わっていきました。
「前科三犯 893 番」「懲役太郎」この文字でこれから起こる事がまだ、想像ができませんでした。
YouTube は、カメラ、パソコン、ハイスペック仕様の物が必要で、また取材、編集など裏方スタッフも雇用し簡単にできる仕事ではありません。
私の名前で会社を創業し、創業融資を受けようと事業計画を書き銀行へ行きました。
「懲役太郎でしょ？」「前科があるのでしょ？」「元反社会勢力でしょ？」50 年来取引のある銀行でさえ融資否決の判断を下され、違う銀行へ行きましたが、私達の会社の情報は既に共有されていました。
会社として、一期でも、二期でも決算をして報告書を持って行ったとしても、今後一切、銀行の融資を受けられないとの判断を下されました。
資本金 100 万円、手持ちのすぐ動かせる資金 300 万円を会社に出し、私は途方にくれました、代表である私は、無給で働く決心をしました。
刑務所の中で手に職をつけ、社会に戻って来たとしても、自分で会社を立ち上げようとしても、機械設備資金、運転資金の融資を受けようとしても、元受刑者は、融資が受けられない、これが現状です、納税の義務は果たしています、これが、日本の社会です。

「更生とは何でしょうか？」「社会参加とは、何でしょうか？」「何年経てば許されるのでしょうか？」私達が更生モデルとして成功できなければ、受刑者にどんな希望を届けられるのでしょうか？

やり直しの出来ない社会なら、またグレーゾーン、アンダーグラウンドの世界と繋がってしまわないか？

再度罪を犯し、刑務所へ戻るのでなないか？そのように危惧してしまいます。

私達は犯罪を助長する内容や、反社会勢力を支持する内容のコンテンツ（動画）は作成しておりません。

新チャンネル「懲役先生」も７月にスタートしました、元法務省の法務教官、少年院の先生と懲役太郎とのコラボチャンネルです。

現在、どこの銀行の融資も受けられず、「懲役太郎」と共にスポンサーのお願いに駆け巡る日々です。

本当の意味での更生はどのようにすればいいのでしょうか？　私達の挑戦は続きます。

≪YouTube チャンネル≫

【懲役太郎チャンネル】

【更生は無理】

【懲役先生】

ミャンマーの人々のいのちを守ってください

ミャンマーの人々のいのちが脅かされています。人道的配慮がなされるように、引き続き働きかけていきましょう。駐日ミャンマー大使、内閣総理大臣、外務大臣あてのハガキがシナピスにあります。必要な方はご連絡ください。

ハガキをお送りいたします

シナピスホームページ　リニューアル！！

シナピス HP がリニューアルしました。正平協大阪大会の情報も満載！ぜひご覧ください。

https://sinapis.osaka.catholic.jp/

食糧品・衣料品提供のお願い

長引くコロナ感染症拡大の影響で、仕事を失った移住者、難民申請者の相談が増えています。日持ちのする食べ物、ハラル食品、新品の男性用下着、冬物、大きいサイズの衣類などのご支援をお願いします。パスタ、米はおかげさまで現在のところ足りております。ご協力に感謝いたします。

詳しくはシナピスまでご連絡ください。

☆シナピス連絡先 ：06-6942-1784　☆FAX 番号：06-6920-2203
☆メール：sinapis@osaka.catholic.jp

掲示板には、シナピス宛メール、FAX、または QR コードからご投稿ください。

アフガニスタンの人々のいのちを助けてください

ハガキと FAX で声を届けましょう！！

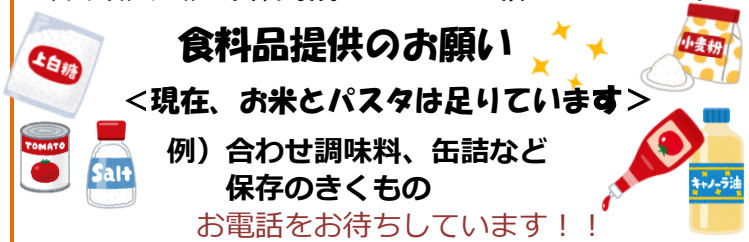
アフガニスタン市民の命が危険にさらされていることに大変心を痛めています。現地からは助けを求める声が続々と入ってきています。また、この日本で暮らすアフガニスタンの人々からも、「家族を、友人を助けてください」と悲痛な叫びが聞こえてきます。「わたしたち」として、自衛隊機による救出も不発に終わり、消極的な日本政府。わたしたちは積極的な人道支援をするよう強く求めます。

お詫び：法務省の FAX 番号に間違いがありました。
訂正（誤）03-5592-7393 →（正）03-359-7393

活動へのご支援ご協力 よろしくお願いいたします。

郵便振替　00960-7-61419
加入者名　カトリック大阪大司教区シナピス

難民移住移動者支援もよろしくお願いいたします。



食料品提供のお願い

＜現在、お米とパスタは足りています＞

例）合わせ調味料、缶詰など保存のきくもの

お電話をお待ちしています！！
☎06-6942-1784

お待たせいたしました。
HP がリニューアルしました！▶
https://sinapis.osaka.catholic.jp/

あとがき

正義と平和大阪大会が目前です。コロナ禍でやむを得ずオンライン開催で行うことになりましたが、今までにはできなかったこと、意識が及ばなかったことへの気づきが多々あります。今までの大会は遠方で足が悪くて行くとこができなかったけれど、今回は移動しなくても参加できる。そのような声も聞きます。色々なご意見があるとは思いますが、この大会が終着点ではありません。
さまざまな課題を投げかける機会でもありますね。
ピンチをチャンスに変えて、神さまがあらたなチャレンジに一歩踏み出した私たちとともにいてくださいますように。（H）

▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆広報活動
・教皇メッセージ、司教団メッセージ等社会活動の指針の伝達
・読者と教会内外の社会活動をつなぐ機関誌としてシナピスニュースを発行

◆大阪教区・社会活動委員会との連携

◆学習会研修会の企画

◆こども基金
世界・日本のこどもたちへの援助

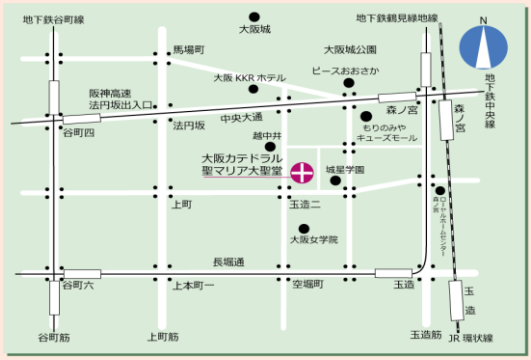
◆カトリック中央協議会との連携
正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

◆難民移住移動者支援
難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して
難民移住移動者 相談ダイヤル
☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22
カトリック大阪大司教区事務局内



公共交通機関ご利用の場合
JR 森ノ宮駅より　約 1000m
地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より　約 800m
JR 玉造駅より　約 1000m
地下鉄鶴見緑地線玉造 1 番出口より　約 800m
車でお越しの場合
阪神高速 1 3 号東大阪線法円坂出口
法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいします
郵便振替　00960-7-61419
加入者名　カトリック大阪大司教区シナピス

忘れない あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。

2021 年 11 月 の 案 内

★印 カトリック関係

2021 年 祈祷の信徒 祈りの意向 11 月

世界共通の意向：＜うつ病に苦しむ人々＞ うつ病や燃え尽き症候群に苦しむ人々が、支援を受け、生活を取り戻す光を見いだすことができますように。

日本の教会の意向：＜すべての死者のため＞ すべての死者が神の国で安らかに憩い、遺族には慰めと希望が与えられますように。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合があります。事前に各主催者へお問い合わせください。

9	火	●アイヌ民族連帯！関西集会　18:30～20:30　■場所：国労大阪会館・3F大会議室　お話：宇佐照代さん　参加費：1000円 主催：「北方領土の日」反対！「アイヌ新法」実現！全国実行委員会・関西 連絡先：労働者共闘　☎/FAX:06-6304-8431　木村敬☎/06-6706-2147
10	水	**平和と開発のための世界科学デー** **★正義と平和大阪大会　申し込み締め切り** ●天皇制を考える市民講座 「日本の中国侵略」 ーその加害の歴史・被害の歴史を考えるー　18:30～ ■場所：神戸学生青年センター　講師：宮内陽子さん（神戸・南京をむすぶ会代表） 参加費：700円 主催：はんてんの会（兵庫反天皇制連続講座）　連絡先：神戸学生センター　☎：078-891-3018
11	木	●「原発賠償関西訴訟・第31回口頭弁論」 於：大阪地方裁判所 13：00～地裁前集合～傍聴券抽選（当日13:15～13:30くらい）　14：00～第31回口頭弁論 主催：原発賠償関西訴訟の応援団★KANSAIサポーターズ　連絡先：☎070-5658-9566
13	土	●同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ 日本の歴史と「朝鮮」の境界　参加費：無料（どなたでもご参加できます）事前予約要 第四回：ウトロ平和祈念館の意義について 金秀煥さん（南山城同胞生活センター 代表） ■場所：youtube上にて限定公開　受講ご希望の方は、事前にご連絡ください。 主催：同志社大学 KOREA 文化研究会　連絡先：✉doshisha_koribun@yahoo.co.jp ●「アジアから問われる日本の戦争」展プレイベント「ドキュメンタリー沖縄戦　知られざる悲しみの記憶」上映会 14:00～18:00　2回上映　参加費：500円　定員：100名 ＊本イベントは12月11日（土）18:30～　エルおおさか5F　戦争展会場（視聴覚室）にて ■場所：豊中人権平和センター　4階ホール 主催：豊中女性史を拓く会（すてっぷ登録団体）　後援：豊中市　連絡先　☎：080-3822-0404（森）
14	日	●憲法講演会　憲法破壊の政治に抗して～憲法9条をいかそう!　13:30～開場　14:00～開会 ■場所：PLP会館・5F大集会室　講演：飯島滋明さん（名古屋学院大学教授）　資料代：800円　※学生半額・介助者無料 主催：とめよう改憲!おおさかネットワーク　連絡先：中北法律事務所　☎：06-6364-0123
20	土	**世界子どもの日** ●10・8山崎博昭プロジェクト 秋の関西集会　あらゆる戦争をなくすために　14:00～17:00 ■場所：エル・おおさか5F視聴覚室 講演：中塚 明（奈良女子大学名誉教授）「敗戦の総括をし損なった日本」ー日本は朝鮮でなにをしたのかー 研究報告：徐潤雅（ソ・ユナ）「境界なき連帯：富山妙子と韓国民主化連帯運動」　参加費：1,000円 ●同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ 日本の歴史と「朝鮮」の境界　参加費：無料（どなたでもご参加できます）事前予約要 第五回：日本を席巻した戦前の韓流ブーム 高祐二さん 兵庫朝鮮関係研究会会員 場所：youtube上にて公開　受講ご希望の方は、事前にご連絡ください。 主催：同志社大学 KOREA 文化研究会　連絡先：✉doshisha_koribun@yahoo.co.jp
21	日	●資本論を読む会　第62回　今こそ「資本論」を読もう！　14:00～16:00頃　参加費：200円（会場費） ■場所（最寄り駅）：サンスクエア堺 A棟（阪和線 堺市駅西 徒歩3分） 内容：段落毎に解説・質問と討論（第1部 第2編　第4章 貨幣の資本への転化第1節 資本の一般的定式）16段落（注4の後）～ 主催：資本論読む会（堺）　連絡先：✉mezimezi22@yahoo.co.jp
25	木	**女性に対する暴力撤廃の国際デー**

27	土	★ 11/27 日(土)　12:30～15:30 カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク 第 7 回勉強会― 『性教育 どこまで教えるの～パート 3～』教育現場からのメッセージ 導入：井上洋士さん(HIV/AIDS デスク委員)　講師:平良愛香さん (HIV/AIDS デスク委員、日本基督教団牧師) 定員 ： 先着 50 名　参加方法 ： オンライン(ZOOM)　参加費 ： 無 料 主催 ： カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク 問合わせ、申込みは　カトリック中央協議会 社会福音化推進部 HIV/AIDS デスク事務局 ☏ 03-5632-4414 ／ FAX 03-5632-7920　✉hivaids@cbcj.catholic.jp　URL http://www.cath-aids-desk.jp ＊参加ご希望の方は 11 月 8 日(月)までにメールかファクスで、ご連絡ください。後日、開催に関するご案内をお送りいたします。 ●原発・核燃からの撤退を2021 秋の関西集会　13:20開場　13:40開演　■場所：エルおおさか南ホール 第1部：「原発・核燃の過酷事故」映画「カタストロフィ」より　石地　優 第2部：「原子力災害を考える」　講演1　上岡直見(環境経済研究所代表、法政大学講師) 講演2　守田敏也(市民環境研究所理事、フリーライター) 第3部：ヨウ素剤の配布と避難計画　各地の報告と全体討論　　一般1000円　避難者/障がい者/学生　700円 主催：脱原発政策実現ネットワーク関西・福井ブロック 共催：大阪平和人権センター、原発反対福井県民会議　協賛：「しないさせない」戦争協力関西ネットワーク、緑の大阪 連絡先：ストップ・ザ・もんじゅ　☎：0712-843-1904 ●同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ 日本の歴史と「朝鮮」の境界　　参加費：無料(どなたでもご参加できます)事前予約要 第六回: 朝鮮通信使のみた近世日本秋学期日朝関係史講座のご案内の文化と生活 仲尾宏さん (京都芸術大学客員教授。在日コリアン人権研究センター理事長・(公財)世界人権問題研究所センター研究員) ■場所：youtube上にて公開　受講ご希望の方は、事前にご連絡ください。 主催：同志社大学 KOREA 文化研究会　連絡先：✉doshisha_koribun@yahoo.co.jp
28	日	●米軍Xバンドレーダー基地の撤去へ! 11・28京都集会　　13時30分～　集会後、デモ　　参加費：500円 ■会場：京都府部落解放センター4階ホール　　現地報告：永井友昭さん(京丹後市議/京丹後宇川の風代表) 呼びかけ：米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会　　連絡先：☎/FAX:075-467-4437　✉：kyogamisaki2013@yahoo.co.jp
30	火	化学兵器による全ての犠牲者を追悼する日
1	水	世界エイズ・デー
2	木	奴隷制度廃止国際デー
3	金	国際障害者デー
4	土	●南京証言集会　　13：00～開場　13：30～開会 ■場所：阿倍野市民学習センター 講堂 (あべのベルタ3F) <1部> 南京紀念館発 DVD「南京受難の地を巡る」「石秀英証言」DVD 幸存者証言・現地撮影含む <2部> 講演：藤後博巳さん 92才「 私は八路軍の少年兵だった」―軍国主義教育で天皇崇拝一色に染まった 満蒙開拓義勇軍の少年が中国解放戦争の中で、心を開いていった経緯は? そして ‥ その解放戦線には多くの日本人が参加していた―　資料代：800円 学生・障碍者500円 主催 :南京大虐殺60カ年大阪実行委員会 ●「憲法9条の会・関西」総会＆講演会　9条破壊の政治を許してはならない 総会：14:00(開場13:30)　講演会：14:30～16:30　　資料代：800円(学生500円) ■会場：摂津市立コミュニティプラザ3階コンベンションホール(1) 大阪空襲体験者の証言DVD(30分)と講演　　講師：矢野宏さん(フリージャーナリスト・「新聞うずみ火」代表) 主催：「憲法9条の会・関西」　連絡先：✉kenpo9kansai@gmail.com
5	日	世界土壌デー [FAO] ●老朽原発このまま廃炉！大集会inおおさか　　開会13:00～　デモ：14:30～　場所：うつぼ公園 主催：老朽原発うごかすな！実行委員会 https://blog.goo.ne.jp/takahamakarakanden

メモ